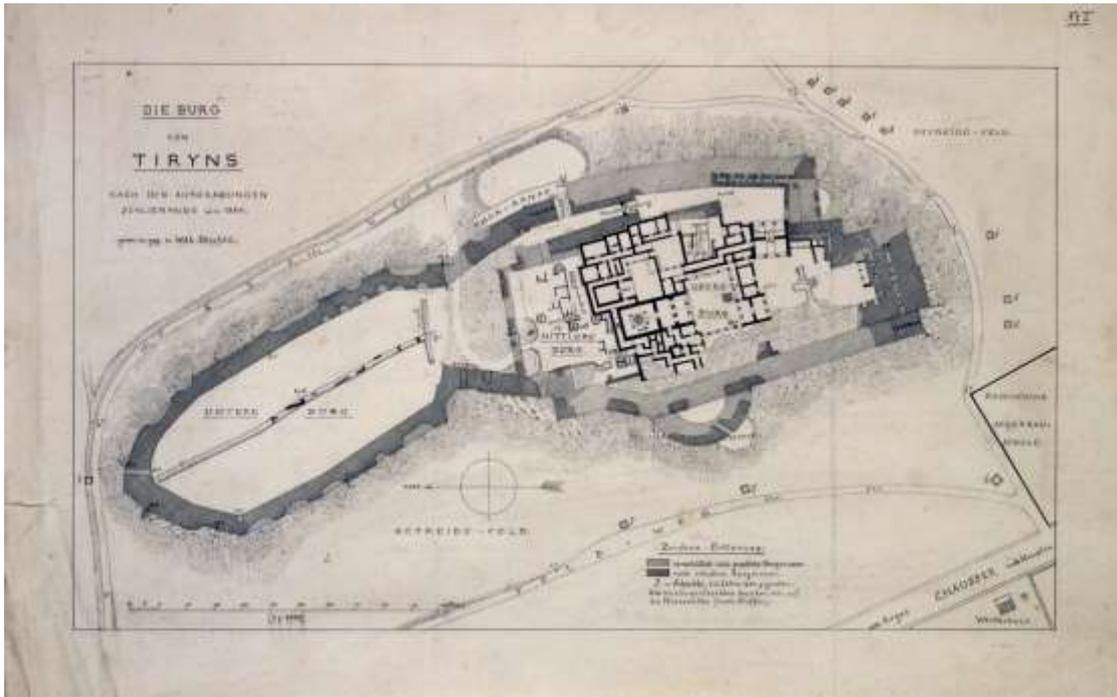


平成28年度横浜ユーラシア文化館開館 夏の特別展

「ギリシア考古学の父 シュリーマン」

— 初公開！ティリンス遺跡の原面の全貌 —



「要塞ティリンスの平面図」原画

【ハインリヒ・シュリーマン】(1822～90)

青年実業家・世界漫遊家・考古学の父として世界に名高いハインリヒ・シュリーマン。彼が情熱を傾けたティリンス遺跡の原画、ギリシアやエジプトの古代遺物、シュリーマン直筆の手紙、トロイ発掘の報告書初版など、天理参考館・天理図書館所蔵の貴重な資料約130点を展示します。

【概要】

ティリンス遺跡はユネスコ世界遺産に登録されているミケーネ文明(紀元前16～13世紀)の遺跡で、1884年にシュリーマンが最初に発掘しました。本展では、シュリーマン直筆文字入りのティリンス遺跡報告書の原画28枚が初公開されるほか、シュリーマン直筆書簡、彼が情熱を傾けた古代ギリシアやエジプトの古代遺物、シュリーマンの名を世界に轟かせたトロイア発掘の報告書初版『トロイアの古代遺跡』完本のドイツ語版などの貴重な資料が一堂に会します。

さらに、1865年の来日時にシュリーマン自身が綴った日記「Dairy A6」および「Diary A7」(在アテネ米国古典学研究所所蔵)を日本で初めて紹介します。

本展は、2015年がシュリーマンの来日(1865)から150年、ギリシアのティリンス遺跡発掘報告書を発刊して130年という節目の年に当たることから、同年春に天理大学附属天理参考館で開幕し、岡山、東京、横浜へと巡回している特別展です。

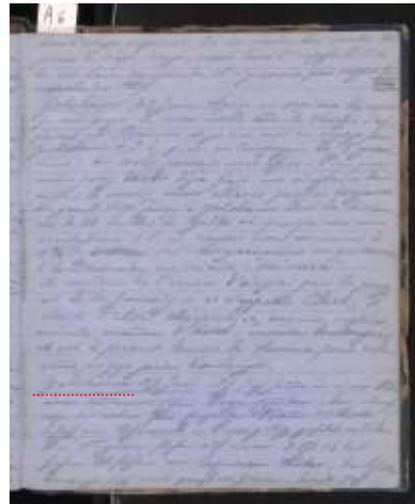
【展示の見どころ】

1 1865年の来日時にシュリーマン自身が綴った日記の発見

外国人の旅行が極めて難しかった幕末に、ドイツ人のシュリーマンが見た横浜・江戸・八王子の情景や人々とのふれあいが細やかに綴られた興味深い日記。「Diary A6」は日々の備忘録、「Diary A7」は自身初の著書となった *La Chine et Le Japon Au Temps Présent* (石井和子訳『シュリーマン旅行記 清国・日本』) の草稿であることがユーラシア文化館の調査でわかりました。

これらの日記に沿ってシュリーマンとともに幕末の横浜・江戸・八王子をたどり、日記のデジタル画像、当時撮影された写真(開港資料館所蔵)および錦絵(横浜市歴史博物館所蔵)のパネルを交えて、調査の成果を報告します。

「Diary A6」、「Diary A7」の調査報告は、当館のみでの公開となります。



American School of Classical Studies at Athens, Gennadius Library Archives, Heinrich Schliemann Papers.

2 シュリーマン直筆文字入りのティリンス遺跡報告書の原画 28 枚を初公開

シュリーマンは1884-85年にギリシア・ティリンス遺跡を発掘、その報告書を1885年に英語版(ニューヨーク)、フランス語版(パリ)、1886年に英語版(ロンドン)、ドイツ語版(ライプチヒ)と三か国語で4版を出版しました。現在のような実測技術が確立されていない考古学黎明期に、精密な遺構図や遺物図を作成したシュリーマンの功績は大きく、報告書作成時に印刷会社に渡された原稿には、シュリーマン自ら指示を書き込んでいます。本展では、その直筆文字入りの原画を初公開しています。



ティリンス出土土器原画 1884-1885年 天理参考館

3 トロイア発掘の報告書初版『トロイアの古代遺跡』

『トロイアの古代遺跡』は、テキスト巻と図版巻とからなる遺跡の発掘報告書。ドイツ語版とフランス語版が出版されました。ドイツ語版は出版後わずか1ヶ月半で完売したといわれており、現存が確認されているのは、ドイツ語版2冊、フランス語版3冊。そのうちの1冊ずつが天理図書館に所蔵されており、今回公開されます。



『トロイアの古代遺跡』フランス語版図版巻

【開催期間】

2016年7月16日（土）～2016年9月4日（日）
ただし7月18日（月・祝）は開館、翌19日（火）は休館

【展示構成】

- 第1章 シュリーマン（1822-1890）の生涯
 - 第2章 シュリーマンが魅せられた世界
 - 第3章 ティリンス遺跡の発掘と報告書原画
 - 第4章 黎明期の考古学と報告
 - 第5章 シュリーマンの眼差し 古代エジプト文化（2階常設展示室の一部）
- 横浜特別展示「シュリーマンが見た横浜・江戸・八王子 1865」（3階）

【会場】

横浜ユーラシア文化館3階企画展示室、2階常設展示室（一部）

【入館料】

一般300円、小・中学生150円

【主催・共催・後援】

主催 横浜ユーラシア文化館、天理大学、天理大学附属天理参考館
共催 横浜市教育委員会
後援 駐日ギリシャ大使館、ドイツ連邦共和国大使館、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、
日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞社東京本社横浜支局、
NHK 横浜放送局、テレビ神奈川

【関連企画】

(1) ギャラリートーク

日時：7月17日(日)、7月31日(日)、8月14日(日)、8月28日(日)、*9月4日(日)

講師：展示担当 福原庸子(横浜ユーラシア文化館主任学芸員) *巽善信氏(天理参考館学芸員)

参加費：企画展観覧料のみ

(2) 展示深読み講座

日時：①7月27日(水)18:00～ ②8月3日(水)18:00～

講師：①津本英利氏(古代オリエント博物館研究員) ②吉崎雅規氏(横浜市歴史博物館学芸員)

参加費：企画展観覧料のみ

(3) ワークショップ

①古代ギリシアとエジプトの衣装(協力：古代オリエント博物館) ②古代エジプトの文字ヒエログリフで名前を書こう!

会場：1階図書コーナー、ギャラリー

参加費：無料



(4) シュリーマン紹介ビデオ上映(天理参考館制作)

会場：3階展示室入口

参加費：無料

お問い合わせ先

横浜ユーラシア文化館 担当：福原 庸子(展示)・神谷 量子(広報)

Tel 045-663-2424

